

令和7年度 第1回 千葉県公共工事総合評価審議会
議事録

審議方法：対面・WEB併用方式

審議日時：令和8年2月9日（月）13時～14時

審議委員：五明 美智男 会長（対面）

鈴木 比呂子 委員（WEB）

藤井 俊行 委員（対面）

山室 久 委員（対面）

- ・配布資料に基づき、以下のとおり審議を行った結果、「意見なし」とされた。

議事1 建設工事における総合評価落札方式の改定について

- ・総合評価の型式選択の設計金額について、近年の物価高騰により工事費が増加していることを踏まえ、1.5億円から2.0億円に引上げる。
なお、建築一式工事は、外注比率が高く設計金額も高くなるため、3.0億円に引き上げる。
また、評価項目のうち、「営業拠点の所在地」、「災害活動実績」の適用上限額も併せて2.0億円に引き上げる。
- ・新たな評価型式（地域の担い手確保型）について、災害発生時において、迅速に活動し、地域の安全・安心を確保する必要があることから、企業の防災に係る取組姿勢・活動実績を重点的に評価するため、県土整備部発注工事を対象として、令和8年度から試行する。
- ・新たな評価型式（営繕チャレンジ型）について、近年の営繕工事における入札不調を踏まえ、公共工事の受注実績の無い企業を参加しやすくするため、県土整備部発注の営繕工事を対象として令和8年度から試行する。
- ・継続教育（CPD）の取組状況において、「電気工事施工管理技士」を追加する。
- ・今後の改定に向けた検討として、①本発注工事における有用な資格、②家畜伝染病に係る防疫対策業務の事前活動の評価【農林水産部のみ】について、令和9年度から試行開始予定。

議事2 建設工事における総合評価落札方式の審査について

- ・総合評価落札方式における評価項目について、総合評価方式の改定等に併せて、設定方法を変更する。

以上